資料１

SPORTS TOWN. GOTEMBA
富士山の麓でスポーツ交流

スポーツタウン御殿場
2025年度 事業報告書

スポーツタウン御殿場推進協議会事務局

2026年4月14日（火）



01 部会の開催状況

４部会の開催状況

本協議会参画団体が４部会に分かれ、総会で承認を受けた事業計画の磨き上げや次年度計画に向けた意見交換を実施。団体間での情報共有や交流が生まれる副次的な効果が生まれている。

スポーツツーリズム部会

開 催 日 ：９月24日
協議内容：情報発信、PRグッズ、スポーツイベント誘致に関する事業について意見交換

開 催 日 ：３月10日
協議内容：各部会員の取組を共有。次年度事業計画について意見交換

構成員

◎御殿場市観光協会
・御殿場市商工会
・富士伊豆農業協同組合
・御殿場総合サービス
・時之栖
・太平洋クラブ御殿場コース
・富士カントリークラブ
・リージョンポート合同会社

スポーツ交流部会

開 催 日 ：8月5日
協議内容：各団体で行われている取組みについて情報共有、意見交換

開 催 日 ：３月10日
協議内容：各部会員の取組みを共有。次年度事業計画について意見交換

構成員

◎御殿場市スポーツ協会
・御殿場市スポーツ推進委員会
・御殿場市文化協会
・御殿場市校長会
・県立御殿場高等学校
・県立御殿場南高等学校
・御殿場西高等学校
・県立御殿場特別支援学校
・御殿場総合サービス
・御殿場市スポーツ振興連絡会
・NAKA-möl Gotemba

サイクルスポーツのまちづくり部会

開 催 日 ：７月14日
協議内容：各部会員の取組を共有。自転車活用推進計画、フジイチのNCR指定に関して意見交換、二子パーク整備進捗状況について報告
開 催 日 ：３月24日
協議内容：各部会員の取組を共有。次年度事業計画や自転車活用推進計画等について報告

構成員

◎富士山御殿場サイクリングプロジェクト
・High Ambition2020jp.
・スルガ銀行
・MTBパークFUTAGO
・Park
・シルバースポーツ
・御殿場ベーカリービケット
・ルーツ・スポーツ・ジャパン
・御殿場西高等学校

空手のまちづくり部会

開 催 日 ：８月 31日
11月23日
協議内容：
市空手道連盟理事会にて、各イベントにおける子ども達の演武出演依頼を行った。
また、第四回空手道KMFC開催前には大会競技進行に係る打合せを行った。

第四回空手道KMFC開催前は市連盟以外の各方面関係者との調整を行った。

その他
次年度大会に向けた大会概要・選手選考、開催までの取り組みなど、随時関係者と打合せを実施。

構成員

◎御殿場市空手道連盟
・御殿場西高等学校
・御殿場市国際交流協会

02 情報発信事業

ホームページの管理・運用

御殿場市のスポーツ情報を網羅するホームページを運用。
本市の豊かな自然環境や魅力的なスポーツ資源をカテゴリごとに分けて紹介するほか、
様々な官民団体の行う市民向けのスポーツイベント情報を横断的に発信する。

スポーツタウン御殿場ロゴマークの活用

スポーツタウン御殿場設立に伴い、ロゴマークを作成。様々なイベント広報物やウェア等へ使用可能。スポーツタウンの認知度を上げることで市内外に御殿場市のスポーツ情報を発信し、多くの市民がスポーツに参画することでスポーツのまちづくりを促進する。

ホームページの管理・運用

HPへの記事投稿とともに、Instagramを活用し情報発信に力を入れた。リアルタイムで情報を発信できる特性を生かした投稿と、HPへの誘導により閲覧数及び回遊率の増加につなげた。

内容

■カテゴリー別記事更新数/100記事

○サイクリング	6 記事
○ゴルフ	7 記事
○乗馬・馬術	1 記事
○アウトドアスポーツ	7 記事
○空手	7 記事
○スポーツライフ（市民向け情報）	39記事
○市所縁のアスリート	30記事
○モータースポーツ	3 記事

■ＨＰ情報

○ユーザー数：80,634（昨年：75,368）
○ページビュー数：147,068（昨年：144,383）

令和７年度閲覧者の多いページトップ５

1．トップページ／14,192
2．KMFC／8,426
3．パレットごてんば／5,740
4．富士登山駅伝／5,220
5．ごてんばサイクリングコースガイド「富士一」／4,746

■Instagram（2024～）

御殿場市のスポーツに関する情報をリアルタイムで、写真や動画を使ってより臨場感ある情報を発信するため、Instagramを開設。（2024.4.22～）

○フォロワー数:1,135人（464↑）
○投稿数/閲覧数
◇投稿:148投稿(109↑)
223,143閲覧（200,673↑）
◇リール動画:33投稿（8↑）
45,349閲覧（28,967↑）
◇ストーリーズ:269投稿（98↑）
151,606閲覧（108,3453↑）

＜HP＞　＜インスタ＞



スポーツタウン御殿場ロゴマークの活用

スポーツタウンの認知度向上を図るため、広報グッズとしてウェットティッシュのほかに協定を結ぶエスパルスキャラクター入りウィンドジャケットを製作。各種団体様にもロゴマークを使用していただいており、市民への認知度向上が図られた。

広報PRグッズの製作

■ウィンドジャケット

購入数：**429**着　　販売時期：2月

申込団体：市職員、当協議会委員・関係者、教員 等

・ウィンドジャケットは春、秋シーズン、または作業時に気軽に着用できるアイテムとして、好評をいただいたため2022年以来の再製作を行った。
・ファミリータウン協定を締結している「清水エスパルス」のキャラクター（パルちゃん）をプリントし、トップアスリートを見る機会にも繋げた。
・多くの方にご購入、ご着用いただいたことでスポーツタウン御殿場のPRとなった。

2022年と合わせた累計購入数：663着





ノベルティグッズの製作

■ウェットティッシュ

制作数：5,000個

■ステッカー

制作数：4,000枚

スポーツタウン2,000枚

エスパルス　　2,000枚

両ノベルティ共に多くのイベントで配布し、スポーツタウン御殿場の認知度向上につなげた。





ロゴマークの使用申込

申込件数：７件　使用内容：チームウェア、大会冊子

申込団体：PARK CYCLYNG TEAM,市野球連盟、市モルック部

03　サイクルツーリズム事業

サイクリングイベント開催・支援

全国から来市するサイクリングイベント参加者が再来訪したくなるおもてなし事業を実施。
また、市民が自転車に乗る機会を創出するとともに、レガシーとしてサイクリング好適地であることをPR。

サイクリスト受入れ環境の整備

サイクリストを理解し温かくもてなす地域社会を目指し、市民が自転車に親しむイベントやサイクリストの受入れ環境を整備する。また、市域を拠点とする自転車チームや企業と連携したサイクリスト誘客に取り組む。

サイクリングイベント開催・支援

スルガ銀行　presents
富士山１周サイクリング

主催：(一社)ルーツ・スポーツ・ジャパン　共催：御殿場市
特別協賛：スルガ銀行株式会社

10月26日（日）　荒天のため中止　会場：富士山樹空の森　参加申込者：970名

・スルガ銀行株式会社様に特別協賛していただき、大会がパワーアップ。
・今回は静岡県（富士山樹空の森）と山梨県（鳴沢活き活き広場）の２拠点開催とした。また、富士山一周（約120㎞）に加えて静岡スタート～山梨ゴールのショートコース（約55㎞）も新登場。
・特典満載のプレミアムライダー枠も用意した。
・参加申込者が970名と目標人数(1,000名)には達しなかったが、大会の認知度やコンテンツを増やしたことにより来年度は多くの参加者が見込まれる。
・御殿場西高等学校自転車部の生徒５名＋顧問２名を招待し富士山１周サイクリングに申込いただいた。
・ステージ上では、富岳太鼓のパフォーマンスにより、参加者へのおもてなしを予定していた。
・御胎内温泉健康センターのご協力によりイベント前日、当日に入館料の割引を行う予定だった。

サイクリングイベント開催・支援

ジャパンピークス

主催：(一社)ルーツ・スポーツ・ジャパン　共催：御殿場市

7月25日（金）～1月11日（日）　申込者：552名（2024年度より101名減少）

・全国の名だたるヒルクライム10コースの一つとして富士山樹空の森をスタートに御殿場口または富士宮口五合目までをゴールとするコースをアプリ上に設定。登山道を有効活用する期間分散型イベントとして開催した。今年度は西日本のコースも加わり誘客を図った。
・参加者自身のタイミングで御殿場に来市しヒルクライムを楽しんでいただいた。
・１dayのチャレンジイベントでは定員50名がすぐに一杯となった。
・イベント終盤にキャンペーンを実施。
・アンケート結果では、宿泊等が増えており昨年より地域消費額が増加した。

Peak１）乗鞍岳畳平（長野／岐阜ステージ）　Peak２）富士山スカイライン（静岡ステージ）
Peak３）渋峠（長野／群馬ステージ）　Peak４）椿ライン（神奈川ステージ）
Peak５）風張峠（東京ステージ）　Peak６）鹿野山（千葉ステージ）
Peak７）六甲山（兵庫ステージ）　Peak８）高野山（和歌山ステージ）
Peak９）鞍馬寺（京都ステージ）　Peak10）茶臼山（愛知ステージ）



サイクリスト受入れ環境の整備

多くの市民が富士いちのゴール者を温かくもてなすため、富士山１周サイクリングと同時開催を計画。特にランニングバイク体験は非常に人気であるため、今後体験会や教室の開催回数増加を目指し、多くの方に自転車に触れてもらう機会を増やていく。

GOTEMBA CYCLE FESTA　主催：スポーツタウン御殿場推進協議会

10月26日（日）　荒天のため中止　　会場：富士山樹空の森

・多くの市民がサイクリストを理解し温かくもてなす地域社会を目指すため、富士山１周サイクリング（富士いち）ゴール時間にあわせ集客し、多くの市民が自転車に親しむ機会の創出ために開催。

・集客強化のため目的を同じくする既存の地域イベントFuji Climb Festivalを同時開催。

・カウベルでサイクリストを出迎える等、富士いちの盛り上げにつなげた。

GOTEMBA CYCLE FESTA　予定していたコンテンツ

・ランニングバイク体験

・富士いち完走者を貸出カウベルでおもてなし

・自転車グッズ販売（High Ambition2020jp.様協力）

・飲食販売（御殿場ベーカリービケット様、とまり木様　協力）

Fuji Climb Festival予定コンテンツ（同時開催：御殿場ベーカリービケット主催）

・ワークショップ（イラストコンテスト、ポーセラーツ等）

・縁日（輪投げ、ヨーヨーすくい等）

サイクリスト受入れ環境の整備

サイクリスト受入れ環境の整備

「ごてんばっ木」を使用したサイクルラックをルートイン御殿場新御殿場インターに設置。

８月に予定されるナショナルサイクルルート指定に向け、御殿場駅乙女口観光協会敷地内にサイクリスト受入のためのゲートウェイを設置。また、御殿場駅周辺にゲートウェイ案内サインを設置。



ルートイン御殿場





御殿場駅乙女口サイクリングゲートウェイ

地元チームや企業とのサイクリスト誘客　主催：High Ambition2020 jp

親子自転車教室・国際女子自転車チームと行く　富士いちライド

10月５日（日）　会場：駒門浅間神社　参加者：２組６名の親子

・補助輪なし子供向け自転車教室

11月３日（月・祝）　会場：駒門浅間神社発着　参加者：約30名

・High Ambition女子メンバーと走る秋の富士山一周を楽しむサイクリングイベント

サイクリスト受入れ環境の整備

本市を拠点とする自転車チームと連携協定を結び、自転車に関する幅広い分野において連携をしていきます。

PARK CYCLING TEAMと自転車を活用した地域振興に関する連携協定を締結

2026年から市内自転車チームとして実業団レースに参戦する「PARK CYCLING TEAM」と自転車を活用した地域振興に関する連携協定を締結した。今後は大人から子どもの自転車講習や教室、またサイクリングガイド等幅広い分野で連携をしていく予定。







協 定 締 結 式

04 スポーツイベント誘致・開催支援、トップアスリートをみる機会の創出

東京2020大会を通してアスリートをみる・応援する・大会を支えることによる地域の一体感や活性化を経験した。今後もスポーツイベント誘致・開催支援・周知を行い、トップアスリート、特に市に関連あるアスリートをみる・応援する機会を継続的に創出していく。

スポーツイベント誘致・開催支援

県外からの参加者が多いトレイルイベントやモルックなどの大規模なスポーツイベントの開催支援を行ったほか、さらなるイベント誘致や富士山の麓でのスポーツ交流をPRするため、スポーツ施設、運動後の温浴施設、観光情報などを会場内で紹介した。また、地場産品を景品として提供した。

Mt.FUJI100 2025

主催：Mt.FUJI100実行委員会、共催：御殿場市

４月25日（金）～27日（日）

会場：富士山こどもの国～富士北麓公園富士山の銘水スタジアム
参加者数：3,948名※過去最多
（47都道府県から参加、最多は東京都735名、参加者の約50%が関東圏、海外43の国と地域からも参加）

・ゴール会場（富士北麓公園）で開催された「Mt.FUJI100 EXPO」にPRブースを出展。

・富士山周辺市町とともに観光PRのほか、カウベル貸出・販売により大会の盛り上げに寄与した。





スポーツイベントの誘致・開催支援

日本モルック選手権大会2025

6月22日（日）

会場：高根ふれあい広場

参加者　120名

主催：　（一社）日本モルック協会

共催：スポーツタウン御殿場推進協議会

- 全国６ブロックの地区予選等を勝ち抜いたトップ選手たちが参加し、世界大会国別対抗戦の出場権を争った。
- 入賞者には御殿場産のコシヒカリなどの地元グルメを副賞として提供した。
- 前日にはトッププレーヤー（河野靖信選手、和田貴裕選手）が講師を務める市民向けモルック体験会を実施した。





第３回富士山カップ（モルック）

10月４日（土）

会場：高根ふれあい広場

参加者数：62チーム(うち市内12チーム)
計約230人(栃木県～京都府)

主催：　NAKA-Möl Gotemba

協力：スポーツタウン御殿場推進協議会

- ６歳～70歳代まで、市内外から幅広い世代の方々が参加し白熱した試合が行われた。
- 開催広報のほか、市民団体が行う100人以上が参加するスポーツツーリズムイベント支援として10万円を助成。



第９回富士山グルメライド

10月１３日（月・祝）

会場：富士山樹空の森

主催：富士山ごてんばサイクリング
プロジェクト

協力：スポーツタウン御殿場推進協議会
JAふじ伊豆御殿場地区本部
富士山樹空の森
御胎内温泉健康センター

後援：御殿場市・裾野市・小山町

- 市内外より118名が参加した。
- 富士山樹空の森を出発し御殿場、裾野、小山を地元ライダーがガイドをしながらサイクリングを楽しんだ。また、地元ボランティアが選りすぐりの地元グルメでおもてなしを行った。
- 市民団体が行う100人以上が参加するスポーツツーリズムイベント支援として10万円を助成。





トップアスリートをみる機会の創出

ホームページや市広報媒体などで積極的に情報発信を行ったほか、市民のスポーツをみる・応援する機会を年間を通して創出した。来年度も多くの市民、所縁のあるアスリートの活躍を追い、市民の憧れや目標となるよう周知していく。

応援アスリート

御殿場市に所縁のあるアスリートや関係者のうち、オリンピック・各競技の最高峰の国際大会に選出され出場した方を応援

東京２０２５世界陸上競技選手権大会３５㎞競歩に出場した川野将虎選手を応援するため、御殿場駅東西自由通路に応援タペストリーを掲出。
そのほか、応援アスリートの応援をInstagramをとおして応援した。選手からも本市の投稿に「シェア」や「いいね」などにより本市の取組に反応があった。



応援アスリート一覧　林 伸伍（馬術）川野将虎（競歩）佐合尚人（空手）遠藤純、守屋都弥、平尾知佳（女子サッカー）
三宅史織、石川璃音、北川ひかる、古賀塔子、谷川萌々子、大場朱羽（女子サッカー）
三戸舜介、植中朝日（男子サッカー）、足立和也（カヌー市内企業製作用具使用）
吉越奏司（パラ馬術）、岡﨑愛佳（空手）、空手イタリア代表チーム

トップアスリートをみる機会の創出

ホームページや市広報媒体などで積極的に情報発信を行ったほか、市民のスポーツをみる・応援する機会を年間を通して創出した。来年度も多くの市民、所縁のあるアスリートの活躍を追い、市民の憧れや目標となるよう周知していく。

トップアスリートをみる機会の創出・市民・所縁のアスリートなどの活躍情報発信

近隣で行われるスポーツイベントの広報および観戦勧奨

①市ＳＮＳやスポーツタウン御殿場ＨＰ上での告知

・アスルクラロ沼津　10/19（日）市民無料招待・優待

・静岡ブルーレヴズ　5/ 3（土祝）,2026/3/28（土）
県民・市民無料招待

・東レアローズ静岡　10/25（土）,26（日）市民無料招待

・モータースポーツ　市民入場無料の案内

②広報ごてんばへの記事掲載

③懸垂幕の制作　展示期間：随時
展示場所：御殿場市役所 東館

④しずおか市町対抗駅伝 応援タペストリーの制作

展示期間：11月12日（水）～12月8日（月）

展示場所：市体育館、けやき館、御殿場駅東西自由通路

市民などの活躍情報発信

市長表敬訪問（３０件）の様子を市Facebookなどに掲載。





市民無料招待企画



懸垂幕



しずおか市町対抗駅伝 応援タペストリー



市長表敬訪問

⑤ 東京2020大会レガシー事業

トップアスリートとの交流、スポーツを通じた共生社会の実現

市にゆかりある東京2020大会に出場したアスリートを始めとするオリンピアン・パラリンピアンとの交流や、ボッチャやモルックなどの誰もが参加できるスポーツを体験する機会を創出し、世界を身近に感じてもらい、スポーツ振興・共生社会の理解促進に繋げる。

サイクルスポーツ・空手のまちづくり

東京2020大会ロードレースの開催会場、空手イタリア代表の東京2020大会事前合宿地として多くの地域住民が大会やトップアスリートと交流した。これらのレガシーを未来へ継承するため、サイクルスポーツや空手を活用したまちづくりを推進する。

トップアスリートとの交流

トップアスリートとの交流を通して、トップアスリートのメンタリティや身体能力を高さを体感し、競技振興やトップアスリートに憧れを持ち目指す、応援する機会を創出した。

トップアスリートとの交流

モルック体験祭in御殿場～世界の技を会得せよ！～

6月21日（土） 会場：高根ふれあい広場 竜良ドーム　参加者：30人

御殿場市に所縁のあるアスリートの、和田貴裕（わだたかひろ）選手 （2024年世界大会4位）と、長年日本モルック界を牽引し、多くのモルック競技者の憧れである河野靖信（かわのやすただ）選手の２名を招き、市民30名に対してモルックのルールや楽しみ方、投擲の基本やノウハウなどを２時間にわたり伝えた。



静岡ジェード卓球教室

3月29日（日） 会場：市体育館　第1体育室　参加者：20人

2025年12月にパートナーシップ協定を締結した静岡ジェードより、石山 慎（いしやましん）選手、本間唯斗（ほんまゆいと）選手、山崎勇人（やまさきはやと）選手の３名にお越しいただき、小学5～6年生と中学1～2年生を対象に卓球教室を行った。参加した子どもたちは、選手から直接指導を受けたり、選手たちの技を間近で見ることができ、終始目を輝かせて教室に参加していた。



スポーツを通じた共生社会の実現

パラリンピアンとの交流やパラスポーツ体験、誰もが参加できるスポーツを活用した交流を通して、共生社会の実現に寄与した。

スポーツを通じた共生社会の実現

吉越奏詞選手実演会・馬とのふれあい会

2026年2月12日（木） 会場：県立御殿場特別支援学校　参加者：全校生徒

・パラリンピックに2大会連続で馬術競技の日本代表として出場している吉越奏詞選手が御殿場特別支援学校にて実演会を実施。

・実演会の前には吉越選手の練習拠点でもある、岡本ライディングクラブJAPANに協力していただき児童生徒と馬のふれあい会を実施。



<馬とのふれあい会>

・サラブレッド、ポニー、ミニチュアホースの計３頭にエサやり体験をしたり、直接触れてみたりと児童生徒たちは笑顔で参加していた。



<吉越奏詞選手実演会>

・人と馬が一緒にスポーツに取り組む姿を実演。音楽に合わせて、並足や速歩を披露した。

・見学していた児童生徒から、歓声が上がる場面も見られた。

サイクルスポーツのまちづくり

東京2020大会ロードレース会場として協働した近隣自治体と連携したサイクリングイベントや子どもたちに自転車に触れるきっかけとなる事業を支援した。

静岡県、小山町、裾野市との連携事業　　※【資料５】に詳細を記載

市単独では実施が困難な広域事業や、オリンピックレガシーを継承する事業を実施

・期間分散型サイクリングイベント「サイクルボール」

　４月26日（土）～２月１日（日）　参加者　452名（うち御殿場市発着212名）

・サイクルボール富士いちチャレンジDAY

　９月28日　参加者　約50名

・国際自転車ロードレース大会の開催支援、観戦勧奨

キックバイク教室の開催

主催：富士山ごてんばサイクリングプロジェクト

日時：６月13日（金）会場：西保育園／日時：７月14日（月）会場：東保育園

日時：７月22日（火）会場：高根第１保育園／日時：11月27日（木）会場：こども園ぶらんこ

日時：12月12日（金）会場：原里第２保育園／日時：２月16日（月）会場：玉穂第１保育園

自転車を通じた地域活性化を目指す取組みとして、オリンピック自転車競技が開催されたまちでひとりでも多くの子どもに自転車に乗る楽しみを知ってもらうことを目的に実施された。



空手のまちづくり

レガシー空手大会での空手キッズ演武や「空手」の書の展示、空手を通じた年代間交流、市内イベントにおける演武を行い、空手の魅力を伝えていった。今後は、空手の動きを「見える化」し、市民の皆さんにオリンピックレガシーとして空手文化を発信していく。

御殿場西高等学校空手道部と御殿場市空手キッズの交流事業について

日時：６月８日（土） 会場：御殿場西高等学校空手道場

参加者：御殿場市内空手キッズ23名（小学５年生～中学３年生）

全国でも優勝、入賞するなど強豪校として知られる御殿場西高校空手道部と直接交流する機会を持ち、子どもたちが目標を持ち、将来全国で活躍することを目指す選手となるきっかけづくりのため空手教室を実施した。





御殿場市空手キッズによる演武（夏祭りパレード・海外交流イベント）

夏祭りパレード　　8月2日（土）　会場：ごてんば歩行者天国本部前

海外交流イベント　７月23日（水）会場：時之栖　さくらの間

10月27日（月）会場：時之栖　さくらの間

参加者（夏祭りパレード55名、海外交流20名、15名）

「空手のまちづくり」取組みの一環として、御殿場市空手道連盟所属の空手キッズや西高による演武が行われた。多くの市民や海外へ空手を知る機会となったことに加え、子ども達が日頃の稽古の成果を披露する場となった。





空手のまちづくり

スポーツタウン御殿場 × ミライバレーコンソーシアムとの連携協定の締結

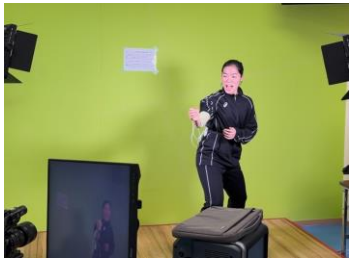
締結日：11月25日（火）

- 副業人材として空手のまちづくりアドバイザーを務めている鈴木秀紀氏の紹介により、名古屋大学が主幹組織を務めるミライバレーコンソーシアムと連携協定を締結。
- 空手の動きをデータにより「見える化」し、アスリートのパフォーマンス向上、市民のスポーツ習慣化、地域コミュニティや対外交流の活性化、スポーツを通じた健康増進、健康寿命延伸等の取り組みを実施する。



ミライバレーコンソーシアムとは

東海国立大学機構名古屋大学未来社会創造機構と同大学院医学系研究科が幹事組織を担い、地方都市がより良くなることを第一に考え、医療・健康・ライフスタイル等の分野における新しい行政サービスの創造と地域の成長に貢献する産業の創出を可能にし、日本型イノベーション・エコシステムの形成と地方創生を実現することを目指している。それらの活動を通じて、地方創生のモデルケースとして、地方都市や中山間地域に適用可能なソリューションを全国に展開することにより、我が国全体の社会課題の解決に資することを目的として活動する。





空手のまちづくり

第四回空手道 Karetado Mt.Fuji Junior Championship in Gotemba

主催：スポーツタウン御殿場推進協議会

11月30日（日）　会場：御殿場市体育館　来場者：約800人

御殿場市空手道連盟が競技主管として大会を開催した。大会コンセプトへの賛同を得て、世界空手連盟、全日本空手道連盟、全国高体連、静岡県空手道連盟および静岡県の後援を受けるとともに、16社の企業から協賛を得た。出場者については、全日本ジュニア強化選手および全国・県高体連推薦選手の枠を拡大。それにより参加校の広がりをみせ、昨年度を上回る国内高校生年代トップクラスの大会となった。



大会コンセプト

・世界での活躍を目指す高校生のステップアップとなる大会

・空手や武道の魅力を空手発祥国日本の高校生を通じ国内外に発信する大会

・東京2020大会のレガシー大会として空手競技の普及に寄与し、オリンピック競技大会での空手競技採用に向けた機運醸成を兼ねる大会

来賓・ゲスト

・来賓として、全日本空手道連盟名誉会長と副会長、静岡県空手道連盟会長などが来場。
さらに世界空手連盟事務総長やイタリア総合格闘技連盟会長、空手部門会長からビデオメッセージを頂いた。

・ゲストとして、アジア空手連盟国際審判員である安住敏克氏が審判監修に就任、御殿場西高等学校出身で全日本マスターズ優勝経験があり、国際審判員の小島万記氏と東京2020大会出場の佐合尚人氏が本大会解説員を務めた。

空手のまちづくり

出場選手

・御殿場西高等学校、日本航空高等学校（山梨）、福井工業大学附属福井高等学校（福井）
・全日本空手道連盟推薦選手（全日本ジュニア強化選手 ４名）
・全国高体連空手道専門部推薦枠（和歌山県立箕島高等学校、おかやま山陽高等学校、城南学園高等学校）
・静岡県高体連空手道専門部推薦枠（静岡県インターハイ男女団体組手上位４校から１名ずつ）



大会の特徴

・高校年代日本代表クラスの選手のみが出場し、全ての試合で高いレベルを実現
・世界ジュニア選手権のルールを採用
・「魅せる空手」を意識（少ないマット数、ライト演出、大型ビジョン、会場MC 等）
・生解説入りの動画配信により、空手や武道の魅力を国内外に発信



成果

・過去大会に引き続き選手、審判員、競技運営、協賛社など多くの関係者のご理解とご協力が得られる大会となった。会場内には空手を親しむ子ども達が多く来場し、多くの市民が御殿場西高等学校をはじめとするトップアスリートを見る機会となった。
・空手を知らない市民が空手を「みる」機会を創出するため、様々な施策に取り組んだ。



空手のまちづくり

多数の協賛企業や全国高体連のご協力

- 企業16社からの協賛を得るとともに、全国高体連より推薦選手出場にあたり経費の負担を受けるなど、各方面からの支援を得て大会を実施。大会出場枠の拡大など大会の成長と、持続可能な大会運営に向けた体制づくりが着実に進んだ。





市内空手キッズによる演武・エスコートキッズの実施

- 多くの市民が創り上げる大会とするため、御殿場市空手道連盟所属の日本空手協会御殿場富士山支部・泊親会御殿場SKCの空手キッズによる演武を開会式前・決勝戦前に行った。 静寂の中、暗転した会場で行う演武は観客の目線を釘付けにした。
- トップアスリートを見る機会の創出の一環として、決勝戦に限り、選手入場の際に市内空手キッズによるエスコートキッズを実施した。普段出場する大会とは違う雰囲気の中、国内トップレベルの高校生達と同じ目線で緊張感を味わったことは子ども達の大きな経験となった。









空手のまちづくり

市内の小学生による「空手」の書を展示

・空手のまちづくりの目標にもある、市民が空手を語れるまちを目指す中で小学生の子ども達が会場に足を運び、全国トップクラスの大会を肌で感じ憧れの創出や、生きがいの創出の場となるよう市内小学生に「空手」の書を書いてもらい、それらを会場内に展示し、大会の雰囲気を盛り上げた。



名古屋大学との連携（産学官医連携）

- 昨年に引き続き、副業人材として空手のまちづくりアドバイザーを務めている鈴木氏の紹介により、名古屋大学医学系研究科及び豊田合成㈱との連携し、大会出場者や来場者に対し、「空手の動作」を通じて自らの体の特徴を知ってもらう機会を創出した。



市民の誰もが来場できるキッチンカースペース

・市内外の観客が多く来場する大会において地元グルメを紹介すること及び空手を知らない人でも会場に来やすい大会とすることを目的として、キッチンカーブースを設置した。御殿場のソウルフード「みくりやそば」をはじめとする、地元で人気の５店舗が出店し、観客のほとんどが御殿場グルメを堪能した。



令和６年度におけるスポーツ関連宿泊者数および消費支出について

〇観光交流課で実施している宿泊数調査にあわせて、令和６年度の実績でスポーツ合宿、大会参加及び大会関係者（観戦者、モータースポーツ含む）の御殿場市内宿泊施設利用者数を調査。あわせて消費支出を算定した。

〇令和６年度の御殿場市内宿泊者数122万人余のうち、292,000人余**およそ２割がスポーツ関連宿泊者**であった。

（令和5年度　宿泊者116万人余／スポーツ関連宿泊者227,000人余）

☆スポーツ関連宿泊者による消費支出は、少なくとも**107億7千万円**があった

（令和5年度　消費支出83億9千万円）

調査日時　令和７年４月～５月

調査対象　市内宿泊施設　７０施設を対象

回　　答　３５施設

内　　容　令和６年度の宿泊者のうちスポーツ合宿、スポーツ大会の出場又は関係者で宿泊施設を利用した人の数をアンケートにより調査。

令和６年度の静岡県における観光の流動実態と満足度調査報告書および御殿場市観光戦略プランの数値から消費支出を算出。

御殿場市
GOTEMBA CITY

SPORTS TOWN. GOTEMBA
富士山の麓でスポーツ交流